

「アジア 3 R ハイレベルセミナー」、
「持続可能な資源管理に関するアジアセミナー」、
及び公開セミナー「資源管理と 3 R - 持続可能なアジアへ向けて - 」
の開催について

1 背景

平成20年5月に神戸で開催されたG8環境大臣会合では「神戸3R行動計画」が合意されるとともに、「新・ゴミゼロ国際化行動計画」を日本として発表した。

環境省としては、両行動計画に基づき、アジアにおける循環型社会の構築に向けて、各国のニーズに応じた廃棄物の適正処理と3Rの統合的推進の支援や、資源生産性の向上や資源利用に伴う環境影響の低減に向けた取組を積極的に進めることとしている。

これを踏まえ、3月9日(月)にアジアにおける3Rの実施促進のための国際協力のあり方を議論する「アジア3Rハイレベルセミナー」を、3月10日(火)には、アジア各国の政策責任者とUNEP「持続可能な資源管理に関する国際パネル」(1)メンバーが資源の持続可能な管理に向けた課題を議論する「持続可能な資源管理に関するアジアセミナー」を非公開で開催する。また、3月11日(水)には公開セミナー「資源管理と3R - 持続可能なアジアへ向けて - 」を開催する。

環境省としては、これらの開催を通じて、今後、我が国のイニシアティブで発足を予定している「アジア3R推進フォーラム」(2)に向けて、地域各国のニーズを踏まえた協力の実現方策の検討を進めるとともに、「国連環境計画(UNEP)持続可能な資源管理に関する国際パネル」の活動の進捗と成果をアジアに普及することとしている。

(1)2007年にUNEPが世界の著名科学者等約20名をメンバーとして設立。地球規模での経済活動の拡大に伴い、国際社会の大きな課題となっている天然資源の持続可能な利用の確保に向けて、資源の利用による環境影響について独立した科学的知見を提供するとともに、環境影響を低減するための方策の理解を促進することを目指している。

(2)アジア各国における3Rの実践を進め、資源効率の高い循環型社会の構築を支援するため、ハイレベルの政府間対話を中心に、国際機関、民間セクター、研究機関、NGO等を含む幅広い関係者の連携を促進する地域横断的なフォーラム。2008年10月の東アジア首脳会議(EAS)環境大臣会合において我が国から設立を提唱し各国の支持を得た。

2 開催時期(概要は別紙参照)

3月9日(月)「アジア3Rハイレベルセミナー」(非公開)

3月10日(火)「持続可能な資源管理に関するアジアセミナー」(非公開)

3月11日(水)公開セミナー「資源管理と3R - 持続可能なアジアへ向けて - 」

3 開催場所 三田共用会議所(〒108-0073 東京都港区三田2-1-8)

4 使用言語

英語(但し、3月11日(水)開催の公開セミナー「資源管理と3R - 持続可能なアジアへ向けて - 」については日本語による同時通訳あり)

「アジア3Rハイレベルセミナー」
「持続可能な資源管理に関するアジアセミナー」
及び公開セミナー「資源管理と3R - 持続可能なアジアへ向けて - 」

I アジア3Rハイレベルセミナー

1. 目的 アジア各国の3R政策担当省庁の部局長級間の討議を通じ、今後各国において3Rの実践を具体的に進めるため、3R国家戦略の策定等の取組において得た経験・情報、優良取組事例などを共有する。さらに本年夏頃に発足を予定している「アジア3R推進フォーラム」に向けて、3Rの実践に当たっての課題認識、優先取組分野の共有を図る。

2. 主催者 日本国環境省、(財)地球環境戦略研究機関(IGES)
(協力機関：国連地域開発センター(UNCRD)、国連環境計画(UNEP))

3. 日時 2009年3月9日(月)9:30-17:30

4. 場所 三田共用会議所(東京)

5. 参加予定者

<アジア各国政府>

・バングラデシュ、ベトナム、カンボジア、フィリピン、インドネシア、マレーシア、タイ、(以上、我が国による3R国家戦略策定支援国)、中国、韓国、シンガポール、日本

<国際機関・援助機関・有識者>

・アジア開発銀行(ADB)、ドイツ連邦政府技術協力公社(GTZ)、国連地域開発センター(UNCRD)、国連環境計画(UNEP)、国連アジア太平洋経済社会委員会(UNESCAP)、日本貿易振興機構アジア経済研究所(IDE-JETRO)、(財)地球環境戦略研究機関(IGES)、(独)国際協力機構(JICA)、企業からの有識者。

6. 使用言語 英語

7. 討議内容 参加のアジア各国が3R国家戦略を策定していく中での経験、知見について報告し、情報交換を行う。また、開発援助機関等による3Rに関する能力開発支援の事例、3Rがもたらしうる様々な便益に関する知見の共有を図る。さらに、3R国家戦略の実施に向けた課題と対応策に関する議論を通じて、アジアにおける国際協力のニーズ、アジア3R推進フォーラムにおける協力の方向性について認識の共有を図る。

持続可能な資源管理に関するアジアセミナー

1. 目的 我が国が主導してきた3Rイニシアティブの一環として、経済発展著しいアジア各国の政策責任者に対し、UNEP「持続可能な資源管理に関する国際パネル」における活動を紹介するとともに、APFEDでの3Rに関する取組成果の発表を行い、科学者、有識者とアジア各国の政策担当者間での意見交換を行う。これを通じて、資源管理、3R、廃棄物対策に関する課題についての共通理解を醸成し、アジアにおける3Rを通じた循環型社会の構築に貢献する。さらにUNEP「持続可能な資源管理に関する国際パネル」に対してアジア各国の政策責任者を伝える機会を提供することにより今後のパネルの活動の推進に寄与する。

2. 主催者 日本国環境省、国連環境計画(UNEP)、アジア太平洋環境開発フォーラム(APFED)

3. 日時 2009年3月10日(火)(非公開専門家会議)9:30-17:30

4. 場所 三田共用会議所(東京)

5. 参加予定者（予定）（敬称略）

< UNEP パネルメンバー >

- ・エルンスト・ヴァイツゼッカー（共同議長）
- ・ジョージ・ヴァルゲーゼ（印 Development Alternative 総裁）
- ・ジェフ・マクニーリー（国際自然保護連合 主席研究員）
- ・森口祐一（国立環境研究所）
- ・アンナベラ・シリバン=マナラン（比 デラサール大学）

< APFED メンバー >

- ・川口順子（元外務大臣/元環境大臣）
- ・シエリト・ハビト（元フィリピン経済社会開発大臣）
- ・浜中裕徳（IGES 理事長）
- ・キム・ミョンジャ（元韓国環境大臣）
- ・エリム・サリム（インドネシア大統領特使）

< 学界産業界等の有識者 >

- ・（独）国立環境研究所、日本貿易振興機構アジア経済研究所（IDE-JETRO）、（独）物質・材料研究機構、（財）地球環境戦略研究機関（IGES）その他企業からの有識者。

< 政府 >

- ・バングラデシュ、ベトナム、カンボジア、フィリピン、インドネシア、マレーシア、タイ、中国、韓国、シンガポール、日本

< 国際機関 >

- ・アジア開発銀行（ADB）、バーゼル条約地域事務所（中国）（BCRC-China）、欧州委員会（EC）、経済協力開発機構（OECD）、国連地域開発センター（UNCRD）、国連環境計画（UNEP）、国連アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）

6. 使用言語 英語

7. 討議内容 「持続可能な発展に向けた経済発展と環境悪化のデカップリング（切り離し）」、「製品と資源の優先順位付け」、「金属資源とリサイクル」、「バイオ燃料等のバイオマス利用強化」が UNEP 資源パネルでの優先テーマとなっていることから、これらテーマに関する検討成果を紹介するとともに、APFED での調査事例や企業の取組も交えた議論を行う。

公開セミナー「資源管理と 3 R - 持続可能なアジアへ向けて - 」

1. 目的 我が国が主導してきた 3 R イニシアティブ（ 1 ）の一環として、経済発展著しいアジア各国における 3 R を通じた循環型社会の構築や持続可能な資源管理に関して、各界の関係者の共通理解を深めることを目的とする。

2. 主催者 日本国環境省、国連環境計画（UNEP）、アジア太平洋環境開発フォーラム（APFED）（ 2 ）

3. 日時 2009 年 3 月 11 日（水）13:30-17:30

4. 場所 三田共用会議所（東京）

5. 内容（予定） UNEP 「持続可能な資源管理に関する国際パネル」（ 1 ）において優先テーマとして科学的知見のとりまとめが進められている「持続可能な発展に向けた経済発展と環境悪化のデカップリング（切り離し）」、「製品と資源の優先順位付け」、「金属資源とリサイクル」、「バイオ燃料等のバイオマス利用強化」などに関する同パネルでの検討成果を紹介する。また、APFED での 3R に関する取組の成果をはじめとするアジア各国の資源管理、3 R、廃棄物対策に関する課題につ

いての発表と討議も併せて行う。

6. 使用言語 英語（日本語による同時通訳あり）

7. プログラム（予定）

13:30

開会

13:30 - 14:10

基調講演（川口順子 APFED 議長、ヴァイツゼッカー-UNEP 資源パネル共同議長）

14:10 - 16:00

セッション1：アジアの経済成長と持続可能な資源管理

アジアにおける金属リサイクル、バイオ燃料開発利用の状況、持続可能な資源管理に向けた UNEP 資源パネルの活動やアジアにおける取組事例等を紹介し、アジアにおける経済成長と資源の持続可能な開発・利用の両立に向けた取組の方向性を明らかにする。

（発表予定者）

国連環境計画（UNEP）、欧州委員会（EC）、UNEP 資源パネルメンバー等

16:00 - 16:15

休憩

16:15 - 17:30

セッション2：アジアにおける3Rの戦略的实施（パネルディスカッション）

アジア諸国における3R 国家戦略の策定状況、3R や資源効率に関する政策や国際協力の推進状況等を紹介し、アジアにおいて3R を具体的な政策や事実として実施していくための協力のあり方議論する。

（パネリスト）

国連環境計画（UNEP）、アジア開発銀行（ADB）、環境省等

17:30

閉会

講演・発表者、パネリスト等は都合により変更される可能性があります。

1 「3Rイニシアティブ」

グローバルな観点から廃棄物の発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）を通じて循環型社会の構築を国際的に推進する G8 を中心とした取組。

2004 年米国シーアイランドで開催された G8 サミットにおいて、当時の小泉総理の提唱により首脳間で合意したものの。

2 「アジア太平洋環境開発フォーラム（APFED）」

アジア太平洋地域にふさわしい持続可能な発展のモデルを検討・提示することを目的とした有識者フォーラム。議長：川口順子元外務大臣/環境大臣。メンバーはアジア太平洋地域の著名な政治家、専門家を中心に 23 名。

3 「国連環境計画（UNEP）持続可能な資源管理に関する国際パネル」

2007年にUNEPが世界の著名科学者等約20名をメンバーとして設立。地球規模での経済活動の拡大に伴い、国際社会の大きな課題となっている天然資源の持続可能な利用の確保に向けて、資源の利用による環境影響について独立した科学的知見を提供するとともに、環境影響を低減するための方策の理解を促進することを目指している。